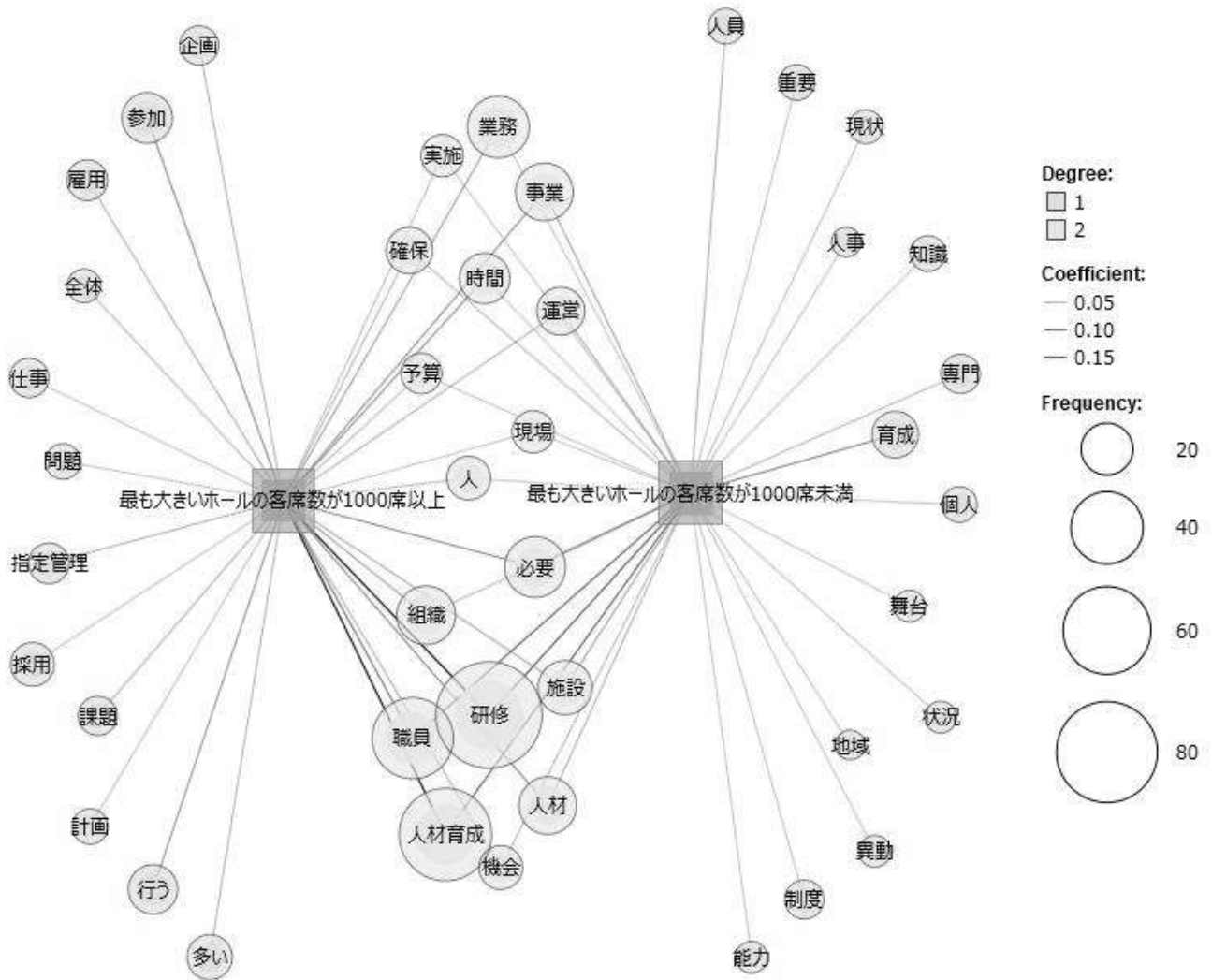


ホールの規模(1000席未満、1000席以上)ごとの共起ネットワーク



共起ネットワークとは:一緒に使われている語同士を、線で結んだネットワーク。語が「一緒に使われる」ことを「共起する」と呼んでいる。線につながっている語同士は、よく一緒に使われる組み合わせ、すなわち共起が多い組み合わせをあらわす。

KHCorderにて作成 <https://khcoder.net/>

参考文献：樋口耕一 2020 『社会調査のための計量テキスト分析 —内容分析の継承と発展を目指して— 第2版』

ナカニシヤ出版

樋口耕一・中村康側・周 景龍『動かして学ぶ！はじめてのテキストマイニング』

ナカニシヤ出版

りゅーとぴあ音楽企画課 新人&異動職員 研修カリキュラム《当初計画》

全体設計

名称	実施月	概要	その他
基礎編	初年度4月	社会人マナー、ローカルルール、 公共ホール業界・財団・りゅーとぴあ・音楽企画課理解	メンター、 エンジェルの設定
初級編	初年度5～9月	企画制作の基本・りゅーとぴあならではの工夫、 クラシック音楽業界理解、ジュニア音楽事業のOJT	
中級編	初年度10～3月	企画制作実務OJT	
上級編	2年目4月以降	OJT	メンターの設定

メモ

採用人材の持っているスキルを把握する。

現状から出発して、がんばれば達成できそうな目標を設定する。

本人にどんなスキルを獲得してどのようになってほしいか、具体的に提示する（動機付け）。

教えることで、教える側も成長する。

OJTでは、教える側から声をかける。

OJTでは、業務の「意味・理由」を伝え、具体的な指示を出す。

OJTでは、簡単で良いので業務マニュアルを示す。

気軽に相談できる「メンター」を設ける。

カリキュラム

※新人職員は全カリキュラムを受講。

※太字部分は、異動で新たに音楽企画課に着任した職員も対象

【基礎編】4月

No.	ジャンル			テーマ・内容	方法	座学時間数	
	大区分	中区分	小区分			コマ	小計
0				音楽企画課 顔合わせ		1:00	20:30
1	ローカルルール	庶務研修		当財団における庶務関係諸手続き、 事務室内での必要物品の所在等	レクチャー	1:00	
2				施設見学+鍵	見学	1:30	
3				機器の使い方（電話・FAX・リソグラフ・紙折り機 ・社内イントラ・昼食オーダー方法・ポット当番等）	実務レクチャー	1:00	
4	社会人マナー			態度、言葉遣い、電話の取り方、困ったときの対処法	レクチャー・練習	1:00	
5	財団理解	現状理解		当財団の概要、構造、特徴	レクチャー	0:30	
6		現状理解		リ्यूとぴあの特徴、機能、 やってきたこと、目指していること	レクチャー	1:00	
7				リ्यूとぴあ発信のブランドムービー等を試聴	動画視聴	0:30	
8	公共ホール	現状理解		概論1 「地方都市の文化施設のミッションを考える（前半）」	動画視聴	1:00	
9	業界理解			概論2 「〃（後半）」	動画視聴	1:00	
10	公共ホールの 業務理解	各課理解		各課の業務内容理解その1 施設利用課長	新採用職員が自分で 各課課長・スタッフ にアポイントをと り、業務説明を願 いする。	0:30	
11				〃 その2 舞台技術課長		0:30	
12				〃 その3 庶務課長		0:30	
13				〃 その4 広報営業課長		0:30	
14				〃 その5 演劇企画課長		0:30	
15				〃 その6 舞踊企画課長		0:30	
16				〃 その7 票券		0:30	
17				〃 その8 レセプション		0:30	
18				〃 その9 インフォメーション		0:30	
19	音楽企画課理解	現状理解		音楽企画課の仕事の中身・構造その1 公演企画制作～どんな公演企画をやっている？	レクチャー	1:00	
20				〃 その2 東響新潟定期・にいがた東響コーラス		1:00	
21				〃 その3 ジュニア音楽教室		0:30	
22				〃 その4 オルガン事業のあれこれ		0:30	
23				〃 その5 アウトリーチ①概論 (京都レクチャー動画使用)	動画視聴	1:00	
24				〃 その6 アウトリーチ②詳細 (東京芸大レクチャー用動画使用)	動画視聴	1:00	
25				〃 その7 その他（CH連絡会議等含む）	レクチャー	0:30	
26		未来視点		音楽企画課職員として将来果たすべき役割と そのための準備	レクチャー	1:00	
27	公演準備・実務			楽屋準備&アーティスト・アテンド（4/30公演）	OJT		
28	インプット確認			4月に学んだこと、気づいたことレポート提出			

No.	ジャンル			テーマ・内容	方法	座学時間数	
	大区分	中区分	小区分			コマ	小計
1	企画制作 2	概論		「公共ホールで企画する」その1、 公演の1か月後、机の上には… 公演当日のアトモスフィア 【動画撮影、アーカイブ化】	レクチャー	1:00	13:30
2				「公共ホールで企画する」その2、 行動分析「チケットを買うということ」、 伝える技術 【動画撮影、アーカイブ化】	レクチャー	1:00	
3				「公共ホールで企画する」その3、 マーケット・インか、プロダクト・アウトか、 プログラミングはどうする 【動画撮影、アーカイブ化】	レクチャー	1:00	
4				「公共ホールで企画する」その4、 悩ましきギャランティ、音楽家を探す。4つの役割 【動画撮影、アーカイブ化】	レクチャー	1:00	
5		業界理解		クラシック音楽業界の地図	レクチャー	0:30	
6	企画制作 3	ケースワーク		りゅーとびあ名物 準フランチャイズ『東響新潟定期』の作り方 【動画撮影、アーカイブ化】	レクチャー	1:00	
7				りゅーとびあ名物 『1コイン・コンサート』の作り方 ～発展形の『5台ピアノ』まで 【動画撮影、アーカイブ化】	レクチャー	2:00	
8	企画制作 4	流儀と工夫		りゅーとびあ版 企画の流儀 (試聴・企画書&予算書の書き方・ 決定への道筋・シリーズで継続)	レクチャー	1:00	
9				りゅーとびあ版 制作の流儀 (チラシの作り方・PRの工夫のあれこれ・ アーティストへの気遣い)	レクチャー	1:00	
10				プログラミング(曲目)の工夫 (売れるための、良い公演になるための、 マスコミに取り上げてもらうための、 チケットセールスのための)	レクチャー	1:00	
11				やっちゃった!企画制作@大失敗エピソード集	レクチャー	1:00	
12	インプット確認		5月に学んだこと、気づいたことレポート提出				
13	企画制作 5	実務		チラシ・プログラム印刷の工夫と段取り	レクチャー	1:00	
14				実際にチラシを作ろう	OJT		
15				PR実務	レクチャー	1:00	
16				実際にプログラム印刷をしよう	OJT		
17	インプット確認		6月に学んだこと、気づいたことレポート提出				
18	企画制作6	実務	ジュニア音楽事業の実際 (練習～公演、卒団式、保護者会との協力)	OJT			
19	インプット確認		7-8月に学んだこと、気づいたことレポート提出				
20	企画制作7	実務		実際にチラシを作ろう	OJT		
21				実際にプログラム印刷をしよう	OJT		
22	インプット確認		9月に学んだこと、気づいたことレポート提出				
23	公演準備・実務	実務		楽屋準備&アーティスト・アテンド (5/3スピリタス)	OJT		
				楽屋準備&アーティスト・アテンド (5/11-13オルガン)	OJT		
				楽屋準備&アーティスト・アテンド、ロビコンまわし (5/29東響ロビコン)	OJT		
				楽屋準備&アーティスト・アテンド (5/29東響)	OJT		
				楽屋準備&アーティスト・アテンド (6/3-4東混)	OJT		
				楽屋準備&アーティスト・アテンド、ロビコンまわし (6/26東響ロビコン)	OJT		
				楽屋準備&アーティスト・アテンド (6/26東響)	OJT		
				～以降の公演の準備・実務は役割分担で			

【中級編】10～3月

No.	ジャンル			テーマ・内容	方法	座学時間数	
	大区分	中区分	小区分			コマ	小計
1	広報宣伝	概論		これまでの広報、これからの広報 (商品アピールから共感獲得へ)	レクチャー	1:00	7:00
2		工夫		りゅーとびあのPR その1	レクチャー	1:00	
3				りゅーとびあのPR その2	動画視聴	0:30	
4	企画制作8	概論		りゅーとびあ版 アーツマネジメントの力～工夫のあれこれ	レクチャー	1:00	
5		ケース ワーク		企画制作スキルその1. 人脈を制する者が企画を制す	レクチャー	1:00	
6				企画制作スキルその2. 聴かずして何も始まらず	レクチャー	1:00	
7				企画制作スキルその3. 値引き交渉こそ事業充実の必須項目	レクチャー	1:00	
8	企画制作9			アウトリーチ・プログラム作り	OJT		
9				リハーサル時のホール職員の役割	レクチャー	0:30	
10				リハーサル時のホール職員の役割 実務その① 10/17ヴィジョンSQ	OJT		
11				リハーサル時のホール職員の役割 実務その② 10/20-22五大ピアノ	OJT		
12		インプット確認			10月に学んだこと、気づいたことレポート提出		
13	企画制作10			企画書作成W. S.			

【上級編】2年目

No.	ジャンル			テーマ・内容	方法
	大区分	中区分	小区分		
1	着任2年目 の目標	実務		企画書を提出し、 企画会議が通ったら3年目に実現させる	OJT
2		実務		ジュニア音楽教室のいずれかを 主担当として担う	OJT
3		人脈		クラシック音楽事務所との 関係を広げる	OJT
4		知識		クラシックの音楽家を知る	OJT
5		知識		クラシックの楽曲を知る	OJT
6		人脈		各地の公共ホールとの関係を広げる	OJT
7		人脈		地域イベンター（マスコミ事業部等） との関係を作る	OJT
8		人脈		地域の音楽家を知る	OJT
9		センス磨き		地域のマーケット状況、ニーズを知る	OJT

りゅーとぴあ音楽アーツ・マネジメント研修2022 カリキュラム

月日	曜	時刻	会場	講座No.	講座名	内容	講師	時間	小計	備考
8月	23日 火	12:30 ~ 13:10	練習室4		アイス・ブレイク	アイスブレイク	榎本	0:40	7:30	
		13:20 ~ 13:30			オリエンテーション	今回の研修の全体像とスケジュールを把握しましょう。	榎本	0:10		
		13:30 ~ 13:50		1	意見交換	公共ホールって何をしているところ？どんな印象？	榎本	0:20		
		14:00 ~ 14:50		2	公共ホール概論	【公共ホール概論1】 公共ホールに期待される役割の変遷と、うまく運営できない原因を探ろう（2022.3.15.鶴岡レクチャー前半）	榎本	0:50		
		15:00 ~ 15:50		3	りゅーとぴあ概論	【公共ホール概論2】 概論1であげた課題に、りゅーとぴあはどのようなアプローチをしてきたか。全部解決！ってわけじゃないけどさ。（2022.3.15.鶴岡レクチャー後半）	榎本	0:50		
		16:00 ~ 16:30	4	意見交換	公共ホールのアレコレについて意見交換	榎本	0:50			
		16:40 ~ 17:40	5	アウトリーチ概論	【公共ホールにおけるアウトリーチの受容と展開】 むかしむかし(1998年度)、あるところ(赤坂)にあった財団法人地域創造が「おんかつ」を始めました。そこから、公共ホールにおけるアウトリーチは広がってゆきました。（2019.8.京都レクチャー）	榎本	1:00			
		17:40 ~ 18:30		夕食休憩						
		18:30 ~ 19:15	スタジオA	6	模擬アウトリーチ	模擬アウトリーチ 田村亮太(Sax)、小黒莉奈(P)	田村 小黒	0:45		
		19:15 ~ 20:25	練習室4		りゅーとぴあの音楽アウトリーチ	【音楽家版、地域の歩き方】 2022.3.2.Music Bridge Reflection Plusフォーラムのレクチャー動画視聴 https://youtu.be/X823-Hsjp70		1:10		
20:35 ~ 21:30	7	意見交換		アウトリーチ出演アーティストのインタビューと意見交換 出演：田村亮太 インタビュー：平田 コーディネーター：榎本	田村 平田 榎本	0:55				
24日 水	練習室4	9:00 ~ 9:45	8	目覚ましディスカッション	公共ホールは、専門ホールが良い。○か×か。	榎本	0:45	7:35		
		10:00 ~ 10:50	9	公共ホール、現場の声その1 音楽企画課のお仕事	公共ホールの価値は「総合力」。考えてみると、公共ホールは市民にいろんな面での文化サービスを提供しています。「現場の声」では、その各面の担当者から、生の声を聞きます。まず企画が生まれるところ、音楽企画課。企画の背景と過程をたどり、最終的にどんな選択がされて一つの企画が生まれるのか、スタッフ制における企画立案の方法を知ろう。あわせて、特徴的な企画のいくつかもご紹介。	伊藤	0:50			
		11:00 ~ 11:50	10	公共ホール、現場の声その2 舞台技術のお仕事	スポットをあてるのは、舞台技術。市民という言葉は舞台の専門家ではない人と相対する「技術」のプロ。どのような仕事(文化サービス)を提供しているのでしょうか。あらためて浮き彫りにします。	金子 (榎本)	0:50			
		11:50 ~ 13:00		昼食休憩						
		13:00 ~ 13:50	11	公共ホール、現場の声その3 広報のお仕事	次は広報のお仕事。ほとんどのお客様が最初に目にするのは、ホームページやSNSなどネットでの情報か公演チラシ。その情報発信機能を一手に担っているのが、広報です。	富永 (榎本)	0:50			
		14:00 ~ 14:50	12	公共ホール、現場の声その4 票券のお仕事	ホールとお客様との接点と言えば、このお仕事、チケット・センター業務。どんなお仕事の内容でどんな工夫があり、毎日どんなやりとりがあるのかを聞きましょう。	上野 (榎本)	0:50			
		15:00 ~ 15:50	13	公共ホール、現場の声その5 レセプションのお仕事	ここがフロント最前線。ホールの「顔」と言うべき、レセプションのお仕事。	田中 (榎本)	0:50			
		16:00 ~ 16:50	14	公共ホール、現場の声その6 庶務のお仕事	庶務課のお仕事にスポット。祭りは花火をあげる人、神輿を担ぐ人だけではできません。会計 & 組織を回すという大切なお仕事もあります。	近藤 (榎本)	0:50			
		17:00 ~ 17:50	15	公共ホール、現場の声その7 利用サービスのお仕事	ここでスポットをあてるのは、ホールを使用する市民に相対する、利用サービスのお仕事。実はレセプションと並んで、地域社会の中でホールが頼まれるか否かを決定する超重要なお仕事です。	石川 (榎本)	0:50			
		18:00 ~ 19:00		意見交換		榎本	1:00			
25日 木	練習室4	9:00 ~ 9:45	16	目覚ましディスカッション	公共ホールは、自主事業をしなくてもよい。○か×か。	榎本	0:45	7:30		
		10:00 ~ 10:40	17	事業紹介 東京交響楽団新潟定期演奏会	プロのオーケストラが出演し、本拠地を数百キロも離れて年5~6回も「定期演奏会」が開催されているのは我が国の歴史上、他に例がない。どうしてこのような企画が生まれたのか、どのような過程をたどったのかを知ろう。	中粉	0:40			
		10:40 ~ 11:00	18	事業紹介 にいがた東響コーラス	りゅーとぴあが運営している「にいがた東響コーラス」について、設立意図・これまでの活動・現在の状態(どんな人が参加しているのかも含めて)・これから目指す未来をご紹介いたします。	中粉	0:20			
		11:10 ~ 11:50	19	事業紹介 新潟市ジュニア音楽教室	「ジュニアオーケストラ教室」「ジュニア邦楽合奏教室」、そして「ジュニア合唱団」。計約300人の子ども達が参加する新潟市ジュニア音楽教室の概要を知ろう。	伊藤	0:40			
		11:50 ~ 13:00		昼食休憩						
		13:00 ~ 13:50	20	これからの広報その① 商品アピールから「共感」「信頼」の獲得へ	「チケットを売る」ためのPRは商品セールス。でも、もう時代はそんなことをやっていない。人が商品を買う前に、すでに作り手側と結ばれる関係性がある。消費飽和している現代、その関係性の上でなければ商品を買っていただくことはできない。そんな今の時代を知りましょう。	富永	0:50			
		14:00 ~ 14:50	21	解説付きで りゅーとぴあの「動画」を見る。	①りゅーとぴあブランドムービー ②東京交響楽団新潟定期ブランドムービー ③ジュニア音楽教室ブランドムービー ④アプリコット・ブランドムービー ⑤りゅーとぴあ スタンディングオペレーション	富永 榎本	0:50			
		15:00 ~ 15:50	22	これからの広報その② ついに行なった、りゅーとぴあ の新アプローチ	「りゅーとぴあの新しいアプローチ」の具体例をお話します。そのいくつかは、公共ホール業界ではこれまであまり行われてこなかった事例です。	富永	0:50			
		16:00 ~ 16:50	23	意見交換	りゅーとぴあの広報について意見交換	富永 榎本	0:50			
		17:00 ~ 17:50	24	誰にもできる「キャッチコピー」と「リード文」の書き方	理解からスタートして「連想ゲーム」に進み、取捨選択して異種の言葉をくっつけることで印象の強い「キャッチ」を作る。そこからリード文を生み出すという流れを追っていきましょう。	榎本	0:50			
18:00 ~ 18:55		キャッチとリード文を作る	実際に自分で作っていきましょう。		0:55					
26日 金	練習室4	9:00 ~ 9:45	25	目覚ましディスカッション	公共ホールの自主事業は、市民のニーズに応じていけばよい。○か×か。	榎本	0:45	2:35		
		10:00 ~ 10:50	26	キャッチとリード文発表！	お互いに発表し、ベストを選ぼう！	榎本 伊藤 金子 中粉 平田 茨木 浅平	0:50			
		11:00 ~ 12:00		4日間の振り返り		榎本	1:00			

令和4年度提言発表要旨

大型の道立劇場のない北海道において、小規模館では公演やスタッフ、運営ノウハウなどの情報が少なく、手探りでの対応が続けられてきた。ソフト対応を行う公益財団法人北海道文化財団が平成6年に発足し、これまでも情報の提供、発信を続けてきた。

同財団がこれまで収集してきた公演、スタッフ等の情報を整理し、舞台技術スタッフを中心とした情報を一元化、劇場へ直接提供するシステムを形成し、「情報送受信型のハブ」としての業務を担うことができないだろうか。

北海道の現状

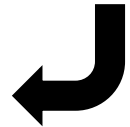
- ・舞台スタッフが地方にはほとんど存在せず、舞台製作に支障が起きている
- ・舞台関係業者、フリーランススタッフが札幌市等の都市部に集中している
- ・全道の公立劇場 約100館が点在している
- ・直営館比率が約40%と、全国に比して高い
- ・地方劇場の利用状況から、単発での業務がほとんどである

検討内容

同財団との協議を進め、財団が舞台技術者情報の集約・発信を担うことが可能かどうか、どのような範囲まで手掛けることが可能かを1年にわたって行った。その結果、次の状態まで作業を進めることで、令和6年度から業務を開始し、運用しながら情報の精度を上げていくこととなった。

⇒全道の舞台技術スタッフ(法人を含む)の情報を地域、分野別に収集し、地方劇場からの要請に対して人材の紹介、取次を行う

※人材情報はリストとして公開するのではなく、財団で集約して、要請に基づいて適当と思われる情報を提供する





作業計画

- 令和5年4月～ 舞台技術スタッフ(法人を含む)の情報収集(ヒアリング先の選定、ヒアリング)
- 6月～ 情報の整理及び追加収集
- 8月～ 舞台技術スタッフ(法人を含む)への個別ヒアリング、協力依頼
- 9月～ リストの作成。情報提供方法の検討
- 令和6年1月～ 舞台技術者の情報提供業務についての周知開始
- 4月～ 業務開始

発注する劇場側の問題点として、法人所属スタッフの取扱い、業務内容に対しての報酬額、移動経費等の設定をどのようにするのが適切かなどの実務経験が少ないため、発注者となる劇場が適切な対応の経験値を積み上げる必要がある。



将来像

- ・地方の劇場が舞台業者及びフリーランスとの密な関係を構築、継続させていくことで、いずれはこの点でのハブ的役割が不要となることが望ましい。